



## 〇〇ができない子

先日、何気にテレビを見ていると、リポーターの方が「最近の子どもの中には、水を飲めない子が増えてきています」ということを言われていました。

この熱中症が取り沙汰されている時代に、水を飲めないのは死活問題じゃないかと思って見ていると、水を飲めない理由は『味がしないから』だそうです。ある高校に取材に行かれて、30名ほどの高校生のうち7名が水を飲めないと言っていました。では、何を飲んでいるのかというとスポーツドリンク等のようなものでした。さらにこの番組では、スポーツドリンクや炭酸飲料に本物の歯を入れて10日間冷蔵庫で保管するという実験をしていました。そうすると、スポーツドリンクや炭酸飲料に入れた歯の表面部分がもろくなるという実験結果が示されました。

また、別のコーナーでは、「消しゴムできれいに字を消せない子」が増えていることも報告されていました。実際に小学生の子が字を消している映像では、うまく消せないので力まかせに紙をこすり、紙がグチャグチャになったり、きれいに消せていないのに、その上から書き重ねたり、うまく消せていない所を黒く塗りつぶしたり、挙句の果てにはイライラしてすねるという始末でした。

では、なぜ消しゴムでうまく字が消せないかというと、『握力』が弱いからだそうです。一昔前は、水道の蛇口をひねる、瓶のふたを開ける、鉄棒やうんていにぶら下がって遊ぶなど日常的に握力を鍛える環境に子どもたちは置かれていました。しかし、水道は自動水栓になり、何かにぶら下がって遊ぶという経験も減ってきたことが握力の低下につながり、消しゴムでうまく字を消せない子が増えてきた要因だそうです。また、タブレット等の普及で、消しゴムの必要性も薄れているのかもしれませんが。

時代とともに生活環境が変化するのは、仕方のないことかもしれませんが。しかし、その中で人が人として本来獲得しておく力が減退していくことがないように留意しておくことも大切であることをこの番組を見ながら思いました。